

今なぜ、職場でのがん教育が必要なのか？

国立がん研究センターによると、我が国は、1年間に約100万人を超える方が「がん」に罹患すると言われていています。

中でも働く世代のがん罹患者の増加は、大きな社会問題にもなっています。

罹患増の要因は、定年延長や、女性特有がんの罹患年齢低下等が挙げられますが、企業は罹患者が休職することによる生産性の低下や、休職中の人員補充への対応が必要となります。また、今後は改正がん対策基本法により、がん患者の就労継続への配慮に努めることも求められます。

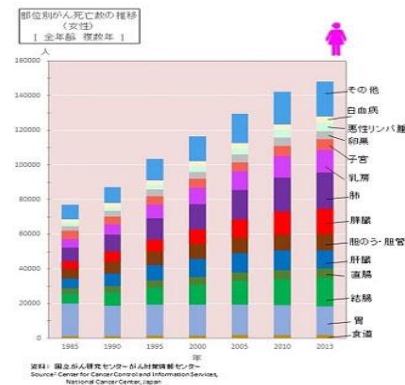
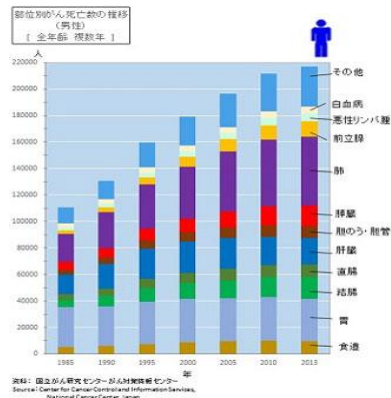
新しい治療が高額化し、健保財政を圧迫していることも大きな問題となっています。

➡ もう、「がん」への罹患は、個人の問題では済まされない！

国は、がん患者が増加する現状を打破すべく、今春から学校において「がんの教育」を開始することを決めました。

➡ では、既に働いている大人は、「いつ」「誰から」がんについて学ぶのか。

➡ 全ての事業所で従業員に均一の情報を提供するにはどのようにすればいいのか。



星和ビジネスリンクの「がん教育」研修の特徴

弊社は、年間50回を超える「がん教育」のセミナーを担当しております。自社開催のがんセミナーをはじめ、生命保険会社様の職員様向け勉強会や、お客様向けのセミナー、最近では企業・団体様から従業員向け（福利厚生）セミナーの依頼も増えてきています。

弊社には「がん」に関してわかりやすくお伝えするノウハウがあります。

例えば、

- ・そもそも「がん」って何（基礎知識）？
- ・生活習慣と検診（タバコ、お酒、運動、定期検診）
- ・治療方法（3大治療～最先端治療、緩和ケア、先進医療 ほか）
- ・必要な備え（情報とお金）等々

大人が知っておくべき情報をわかりやすくお伝えします。



講師紹介

高橋 義人(たかはし よしひと)

株式会社M&Fパートナーズ 代表取締役
ユニバーサルライフ株式会社 東京第2支社 支社長
一社) 日本遺伝子治療医学研究会 医療コーディネーター



- 1988年 明治大学卒
- 1988年～2011年 外資系大手生命保険会社に23年間勤務、静岡・埼玉・大阪にて支社長を務め、退職後がん治療専門の医療コンサルティング会社を設立し現在に至る。
- 医療コーディネーターとしてがん患者と向き合い、治療相談・病院紹介・病院へのアテンド等の患者支援活動の傍ら、セミナー講師として「がんに備えるマネープラン」「最先端がん治療とがんファイナンス」等について年間約100回の講演を行っている。